

平成31年度 東京都立板橋高等学校 学校経営報告

東京都立板橋高等学校長
川口 元三

数値目標の達成状況

31年度の数値目標		31年度結果	過去のデータ(30年度)
1	遅刻指導の強化 ・遅刻者6.0%以下	1学年 2.6% 2学年 5.3% 3学年 5.9%	1学年 3.0% 2学年 6.1% 3学年 7.3%
2	学習習慣の確立 ・自主学習時間 1日1時間以上 60%以上	1学年 66.2% 2学年 65.1% 3学年 60.7%	1学年 58.2% 2学年 58.1% 3学年 59.4%
3	学力向上 ・学力スタンダード学力調査 得点 50%以上	第1学年は、「学びの基礎診断」で業者テストを導入したことにより、調査得点が伸び悩んだ。 第2学年は、定期テストの実施により、殆どの教科において調査得点が50%以上であった。	
	体力向上 ・全学年前年度を上回る	平成31年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査 前年度との比較 グラウンド工事が年度末まで行われたため、体育施設が十分に使用できない状況であったが、前年度を上回る結果が出ている。男子は全学年で、8種目中、握力、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びの4種目が全国平均を上回った。女子は全学年で、8種目中、握力、長座体前屈、反復横跳び、50m走の4種目が全国平均を上回った。	
	授業評価(肯定的評価)75%	79.7%	75.5%
	・土曜講習参加者 延べ2000名以上	2522名	2511名
・図書館の貸出冊数3,000冊以上	4707冊	5078冊	
4	基礎的・汎用的能力の育成 ・自習室開室180日以上	1学年 20日(展開教室401) 2学年 20日(展開教室301) 3学年 25日(学年教室等)	1学年 50日(展開教室401) 2学年 50日(展開教室301) 3学年 121日(3年1組教室)
5	1学年生徒部活動加入率85%	61%	63%
6	・自立支援教育プログラムの活用 1、2学年6回	1学年4回、2学年2回	1学年4回、2学年3回
7	・4年制大学進学率40%	33%	32%
	・日東駒専以上 現役合格10名	5名	10名
	・国公立大学1名合格	1名	0名
	・就職内定率	100%	100%

	100%		
	・進路未決定者 10%未満	10.1%	17.6%
8	安全教育の推進 (災害安全) ・上級救命講習 1 学年生徒受講	「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した 上級救命講習実施校」として3 学期に実施予定 であったが、臨時休校のため中止。	「東京消防庁及び東京防災救急協 会と連携した上級救命講習実施 校」として3/18 実施
9	大学入試問題研 究及び生徒対象 講習	3 学年を中心に実施	実施
	授業見学 授業見合おう月 間(6 月、11 月)	若手教員育成研修研究授業の参観があった。	若手教員育成研修研究授業の参観 があった。
10	教育公務員 ・サービス事故防 止研修3 回	サービス事故防止研修3 回	サービス事故防止研修3 回
11	募集、広報活動 の充実・塾訪問 100 塾以上	130 塾	43 塾
	・中進対1.0 倍 以上	1.57 倍 (男子1.45 倍、女子1.70 倍)	1.37 倍 (男子1.19 倍、女子1.56 倍)
	入学者選抜1 次最終応募倍率 1.35	1.47 倍 (男子1.52 倍、女子1.41 倍)	1.40 倍 (男子1.34 倍、女子1.45 倍)
	・入試対策講座 5 教科2 回	5 教科2 回	5 教科2 回
	・文化祭来場者 数1,300 名以上	1906 名	2336 名
12	・ホームページ 更新 200 回以上	190 回	223 回

1 今年度の取組と自己評価 自己評価基準: **[A]** 十分に達成できた **[B]** 概ね達成できた **[C]** あまり達成できなかった

(1) 教育活動への取組 (2) 重点目標への取組	自己評価
1 組織的・学校経営の推進 [B]	
<ul style="list-style-type: none"> 企画調整会議 戦略検討 主幹会議 主幹教諭6名の連携・協力、学校改革牽引。 主幹教諭・主任教諭によるミドルマネジメント 教職員の情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 企画調整会議(30回) 学期ごとの振り返り等、PDCAサイクルに基づくマネジメントシステム。 主幹会議(22回) 連携・協力。当面する組織的課題の検討・解決。身だしなみ指導、校内規定等。 教職員の情報の共有化 打合せ、臨時の会議など。
2 規範意識の向上 [B]	
<ul style="list-style-type: none"> 「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、身だしなみ指導の徹底を図る。 挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 朝、昼休みの正門等における指導、授業時巡回を全教員当番制で行う。 セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。 情報モラル教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒部及び学年で遅刻防止指導を行った。【数値目標1】全体及び個別指導により、数値目標を達成した 挨拶 文化・スポーツ等特別推薦実施種目の部の生徒等はきちんとしているが、全体としては不十分。 セーフティ教室 1 学年7/17、2 学年7/12、3 学年12/20 交通安全 自転車の傘さし・イヤホン走行禁止に係る指導。生徒・保護者への説明を丁寧に行った。SNS教育の徹底。

<p>3 学習習慣の確立ー自主学習時間の伸長ー 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学習時間調査 ・生徒による授業評価の実施及び結果分析年2回 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の自己管理(記録)指導 ・自主学習時間調査 教務部主導で定期考査ごとに実施・集計、結果を教室掲示。 <p>【数値目標2】自主学習時間伸長、引き続き更なる伸長を図る。特に3学年、進路内定者の意識向上が課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒による授業評価」教育実践研究オフィスFの分析、改善提案、校内研修実施により充実・強化、授業改善につなげることができた。
<p>4 学力向上、体力向上 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導 ・教科会の充実を図る <p>【自主学習時間の伸長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜講習の充実、読書活動の推進 ・ICT機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・英語教育の改善・充実ーJET、ALTの活用ー ・リビッパ・パルビッパ教育の推進 5つの資質の育成(全教科合計、年35単位時間) ・主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・体力・運動能力の向上 体力テスト実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の共通問題化 ・教科会 教科マネジメント充実。 ・教科主任会 月1回定例開催は実現できなかった。 ・土曜講習 12回開催。 ・教員及び司書連携による指導。 ・ICT機器の活用の拡大、充実。 ・JET及びALTの活用 TTの充実。 ・リビッパ・パルビッパ教育 臨時休校により未実施 ・主権者教育 地歴・公民科教員により実施した。 ・体力向上推進優良校として表彰された。
<p>5 系統的なキャリア教育の推進 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有化 ・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 ・上級学校説明会等への学年積極的参加、情報収集・活用。 ・ガイダンス、個別相談の充実。 ・同窓会との連携 講演会 社会で活躍する/してきた卒業生を講師として招聘。 ・「都立高校生のための社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標4】拡大学年會開催等により、生徒情報の共有化進展。 ・模試の結果分析会、3学年センター試験受験クラス生徒の目線合せを実施。 ・上級学校の説明会 進路指導部担当が一覧作成、周知。3学年担任が参加して情報を収集し、学年で活用。 ・ガイダンス、夏季休業日等に三者面談を行うとともに、きめ細やかな進路指導を行った。 ・同窓会との連携 講演会 実施せず【数値目標6】 ・「社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」「右脳・左脳ワークショップ」、「勤労観・職業観ワークショップ」、「ライフプランニング授業」、「トキョー学生図鑑のオープンキャンパス」、「社会人アドバイザー交流会」
<p>6 基礎的・汎用的能力の育成 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・週末課題(1、2学年) ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・汎用的能力の育成 学年、担任を中心に取り組んだ。週末課題については、提出状況等課題があるので、内容も含めて検討する。 ・志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 国語科、3学年担任等が懇切丁寧に個別対応・指導を行った。2学年も3学期に志望理由書作成指導を行った。
<p>7 生徒一人一人に応じた適切な進路指導 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・学校外の学修ー保育園実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標7】首都大学東京に現役合格。 ・「進路の手引き」発行。 ・学習合宿 令和元年7月22日～24日。 ・学校外の学修 保育園実習5日間、3学年3名実

	施。「子どもの発達と保育」(1単位)3学年2名、「家庭総合」(1単位)3学年1名認定。
8 自治意識、帰属意識の向上 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興「平成29年度体力気力鍛錬道場(部活動推進指定校)」としての取組 ・部活動推進と体力向上 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標5】 ・部活動 主な成果 女子バスケットボール部：夏季大会ブロック優勝、新人大会予選都ベスト16 陸上競技部：関東高校選抜新人大会準優勝(男子100m、200m)、第4位(女子800m) 野球部：夏季東京大会3年連続4回戦進出(ベスト32)、地域清掃。 サッカー部：選手権一次予選ブロック優勝、都大会出場。女子バレー部：新人選手権大会第16組4戦全勝(1位) 吹奏楽部：都アンサンブルコンテスト銀賞、特別養護老人ホーム「千川の杜」で演奏活動。
9 健康・安全、社会貢献 【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化 ・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関する委員会8回開催。 ・保健庶務部 ゴミの分別に努力 ・いじめ対策委員会 いじめアンケート：年3回実施。いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組み、成果を上げた。 ・養護教諭と担任の連携による教育相談体制。 ・4月にスクールカウンセラーが、「学校生活アンケート」を1年生に実施し、1年生全員と面談。 ・防災教育 【数値目標8】宿泊防災訓練(一泊二日)1学年、板橋警察署、板橋消防署及び小茂根出張所、東京都水道局と連携。 ・地域清掃、硬式野球部等が早朝清掃
10 計画的、組織的な人材育成 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 ・「平成29年度教職大学院連携協力校」としての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT 教科、分掌、学年 意図的・計画的・組織的に実施。授業研究 研究協議の充実。 ・校内研修 【数値目標9】「生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告」は個別の結果を示すことで授業改善に係る意識向上につながった。 ・教員相互の授業参観 「授業見合おう月間」の活用 【数値目標9】教員の意識、取組に隔たりがある。課題 授業研究の充実。
11 教員の使命感・倫理観、服務規律の遵守。 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律の徹底 ・校内規定の整備 ・情報資産の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標10】引き続き研修を行い、自覚を促す。 ・服務規律徹底、個人情報紛失防止の徹底。「学力検査採点の誤り」ゼロの継続。 ・クリーンデスクの励行 一部達成できていない。 ・教務部、生徒部 「校内規定集」見直し、整備。課題 内容の点検、充実。
12 募集・広報活動の充実 【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特徴のより一層の明確化 ・入学者選抜(文化・スポーツ等特別推薦を含む)の評価・検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。 ・家庭・地域等の本校に対する要望の把握、対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標11】全て達成。 ・学校の特徴の明確化を図り、積極的に発信するとともに推薦に基づく選抜の作文、集団討論のテーマを検討、決定する際にも意識した。 ・「学校案内」刷新、ホームページの適時適切な更新等好評である。さらなる充実を図る。

13 教育環境の改善・充実 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標 12】課題 予算、「標準」との兼ね合い。 ・校内の改築委員会が精力的に打合せ、活動し、情報を伝え、課題を明確にして意見集約を行ってきた。
14 予算、施設・設備、接遇等 【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な予算執行と更なる経営参画 ・教育環境の更なる整備、充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律経営推進予算の一般需用費センター執行割合は59.3%となり、ほぼ数値目標を達成した。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備を行った。 ・接遇、入学者選抜業務等 適切に行った。
15 地域連携 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校づくり ・地域の公共機関との連携による生徒の健全育成 ・日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放 グラウンド工事のため実施せず。 ・公開講座「日本古代史を学ぶ」5回計15時間 ・教科「人間と社会」等、地域との連携強化。

2 次年度以降の課題と対応策

次年度以降の課題	対応策
規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る／守らせる 「遅刻ゼロ」生徒部と学年の連携による指導強化、挨拶の充実・指導の強化。 ・服装・身だしなみ指導 全教員による指導の徹底。頭髮・化粧に関する指導等、SNS板橋高校ルールの徹底。
学習時間の伸長	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年 自宅学習の充実。 ・教務部 定期考査ごとの自主学習時間調査、迅速な結果提示。学年、教科による指導。 ・全教員による継続的な取組 学習課題の提出等。 ・教科会(月2回)、(教務部主導)教科主任会定例開催。
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学カスタンダードを活用した教科マネジメントの徹底ー到達目標の明確化と達成状況の分析ー。 ・主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善。 ・英語教育の改善・充実ーJET、ALTの活用等ー。 ・土曜講習、長期休業日の講習等の充実。
体系的なキャリア教育の推進 生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部 学年、教科との連携強化。 ・学年 三者面談の実施、保護者との連携強化。 ・不登校・中途退学防止 相談体制の強化。 ・生徒一人一人の情報(学習・生活・進路希望等)の共有化 拡大学年會、成績処理ファイルの活用等。 ・基礎的・汎用的能力の育成 読書活動の推進、言語活動の充実、小論文、志望理由書指導等。 ・看護体験、保育園実習等の継続。
部活動のより一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の充実・振興、部活動加入率向上。 ・体力の更なる向上。
健康・安全、社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化 美化委員による点検・評価、取組のよいクラスを顕彰。 ・交通安全指導 特に自転車の乗り方指導の徹底。 ・防災教育の継続・充実 防災活動支援隊の活動の充実。被災地視察、被災地との交流等。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携の充実・強化 例)千川の杜、保育園等との連携
組織的な学校運営の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 分掌・学年を超え、学校改革の戦略を検討する。 ・主幹会議 方策の検討、企画調整会議に提案。主幹教諭6名の連携・協力体制構築、学校改革の牽引。
募集・広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の充実(きめ細やかな指導) ・全校体制の強化(夏季休業日中の学校案内、北区進路フェア等外部説明会参加、塾・中学校訪問)。 ・入試対策講座、部活動体験、上級学校訪問対応等。
計画的、組織的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 授業見合おう月間、この授業を見よう等。